

まつど議会だより

発行/松戸市議会
編集/広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



**新型コロナウイルス感染症は一人一人の予防と拡大防止対策が大切です。
不要不急の外出自粛をお願いします。最新の情報は市ホームページをご覧ください。**

令和2年5月11日

松戸ナンバー誕生

常盤平さくら通りの桜



通常のプレート



図柄入りプレート(フルカラー[寄付金あり])



図柄入りプレート(モノトーン[寄付金なし])

本土寺のあじさい



矢切の渡し



※写真はイメージです。

自動車のご当地ナンバー「松戸ナンバー」が走り出します。「松戸ナンバー」では、有料で地域独自の図柄がデザインされた図柄入りナンバープレートも選択できます。

●問い合わせ先 政策推進課 TEL 047(366)7072

※QRコードのURLは右のとおりです。 https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/numberplate/index.html



市議会 トピックス

議案第63号の
審査から

●令和2年度松戸市一般会計予算
1,551億6,000万円を可決

※詳細は3面「予算審査特別委員会の審査から」に記載しています。

新型コロナウイルス感染症に関する市議会の対応について

感染リスクを下げるため、各常任委員会や予算審査特別委員会において、開催前後、休憩時、執行部の入れ替え時に換気し、さらにマイク、机等の消毒を行いました。

また本会議や各委員会傍聴についても入場時のアルコール消毒液による手指の消毒を徹底し、別室での傍聴などの対策を講じました。

意見書 1 件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

●新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物を提供しています。詳細は下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先

松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111

松戸市議会の情報を ホームページで公開しています

本会議の様子は「インターネット
議会中継」でご覧いただけます。



議会中継

松戸市議会

インターネット放映アクセス件数45万4,624件
(平成17年6月開設～令和2年3月末)

3月定例会

令和2年3月定例会を2月25日から3月25日まで開催しました。今定例会では市長・教育長の施政方針等に対する各会派の代表質問を行いました。初日には、市長から提出された専決処分報告を承認し、農業委員会委員の任命議案14件それぞれに同意し、さらに議員提出議案1件を上げ、採決しました。このほか元年度補正予算案9件を可決しました。また市長から提出された2年度予算に関する議案11件や、条例などの一般議案21件を、それぞれの委員会において審査しました。最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された専決処分報告を承認し、議員提出議案4件を上げ、採決しました。

(2面に審議結果、3面に予算審査の主な質疑、4面に討論を掲載)

3月定例会 審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
市長提出議案					第85号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第55号	令和元年度松戸市一般会計補正予算(第4回)	総務財務	可決	多数意見	第86号	(仮称)松戸市リサイクルプラザ整備事業者選考委員会条例を廃止する条例の制定	教育環境	可決	全会一致
第56号	令和元年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第87号	松戸市公設地方卸売市場業務条例の制定	建設経済	可決	多数意見
第57号	令和元年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	多数意見	第88号	松戸市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第58号	令和元年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第89号	松戸市新松戸駅東側地区土地区画整理事業立体換地保留床部分取得事業者選考委員会条例の制定	建設経済	可決	多数意見
第59号	令和元年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第90号	松戸市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第60号	令和元年度松戸市水道事業会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	全会一致	第91号	松戸市下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第61号	令和元年度松戸市病院事業会計補正予算(第1回)	健康福祉	可決	全会一致	第92号	松戸市消防団条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第62号	令和元年度松戸市下水道事業会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	全会一致	第93号	財産の減額貸付け	健康福祉	同意	全会一致
第63号	令和2年度松戸市一般会計予算	予算審査特別委員会	可決	多数意見	第94号	和解	教育環境	同意	多数意見
第64号	令和2年度松戸市国民健康保険特別会計予算		可決	多数意見	第95号	農業委員会委員の任命(山口輝雄氏)	—	同意	多数意見
第65号	令和2年度松戸市松戸競輪特別会計予算		可決	多数意見	第96号	農業委員会委員の任命(樫唯司氏)	—	同意	多数意見
第66号	令和2年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算		可決	全会一致	第97号	農業委員会委員の任命(渡邊慶弘氏)	—	同意	多数意見
第67号	令和2年度松戸市駐車場事業特別会計予算		可決	全会一致	第98号	農業委員会委員の任命(岩佐忠夫氏)	—	同意	多数意見
第68号	令和2年度松戸市介護保険特別会計予算		可決	多数意見	第99号	農業委員会委員の任命(山室一美氏)	—	同意	多数意見
第69号	令和2年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算		可決	多数意見	第100号	農業委員会委員の任命(渡邊洋子氏)	—	同意	多数意見
第70号	令和2年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算		可決	多数意見	第101号	農業委員会委員の任命(松戸英樹氏)	—	同意	多数意見
第71号	令和2年度松戸市水道事業会計予算		可決	全会一致	第102号	農業委員会委員の任命(湯浅孝一氏)	—	同意	多数意見
第72号	令和2年度松戸市病院事業会計予算		可決	全会一致	第103号	農業委員会委員の任命(加藤正芳氏)	—	同意	多数意見
第73号	令和2年度松戸市下水道事業会計予算	可決	全会一致	第104号	農業委員会委員の任命(杉浦勇司氏)	—	同意	多数意見	
第74号	松戸市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見	第105号	農業委員会委員の任命(杉浦昌平氏)	—	同意	多数意見
第75号	松戸市印鑑条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	全会一致	第106号	農業委員会委員の任命(鈴木榮一氏)	—	同意	多数意見
第76号	松戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第107号	農業委員会委員の任命(齋藤香氏)	—	同意	多数意見
第77号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定(松戸市いじめ防止対策委員会委員等報酬関係)	教育環境	可決	多数意見	第108号	農業委員会委員の任命(加藤一郎氏)	—	同意	多数意見
第78号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定(福祉事務所嘱託医等報酬関係)	健康福祉	可決	全会一致	第109号	令和元年度松戸市一般会計補正予算(第5回)	—	可決	全会一致
第79号	松戸市特別会計条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見	議員提出議案				
第80号	まちづくり用地活用事業審査委員会条例を廃止する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第22号	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書	—	可決	全会一致
第81号	松戸市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第23号	真の社会保障制度の充実を求める意見書	—	否決	多数意見
第82号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致	第24号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書	—	否決	多数意見
第83号	松戸市虐待防止条例の制定	健康福祉	可決	全会一致	第25号	性犯罪に関する刑法の改正を求める意見書	—	否決	多数意見
第84号	松戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致	第26号	中東海域への自衛隊派遣を中止するよう求める意見書	—	否決	多数意見

会派別一覧

会派名称および会派構成に変更がありました。松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

松政クラブ 13人
◎ 木村みね子 ○ 桜井 秀三 ○ 鷹野 聡 ○ 中村 典子 ○ 大塚 健児 ○ 大谷 茂範 ○ 大橋 博 ○ 鈴木 大介 ○ 石井 勇 ○ 箕輪 信矢 ○ 杉山 由祥 ○ 田居 照康 ○ 小沢 暁民

公明党 10人
◎ 城所 正美 ○ 諸角 由美 ○ 篠田 哲弥 ○ 鈴木 智明 ○ 松尾 尚 ○ 岩瀬 麻理 ○ 高橋 伸之 ○ 伊東 英一 ○ 飯箸 公明 ○ 織原 正幸

市民クラブ 7人
◎ 末松 裕人 ○ 市川 恵一 ○ 渋谷 剛士 ○ 岩堀 研嗣 ○ 山口 栄作 ○ 深山 能一 ○ 中川 英孝
無所属 中西 香澄

政策実現フォーラム※ 7人
◎ D E L I ○ 増田 薫 ○ 成島 良太 ○ 戸張 友子 ○ 関根ジロー ○ 原 裕二 ○ 二階堂 剛
無所属 岡本 優子 ※

日本共産党 4人
◎ 宇津野史行 ○ 平田きよみ ○ ミール計恵 ○ 山口 正子
無所属 山中 啓之

議員定数 44人

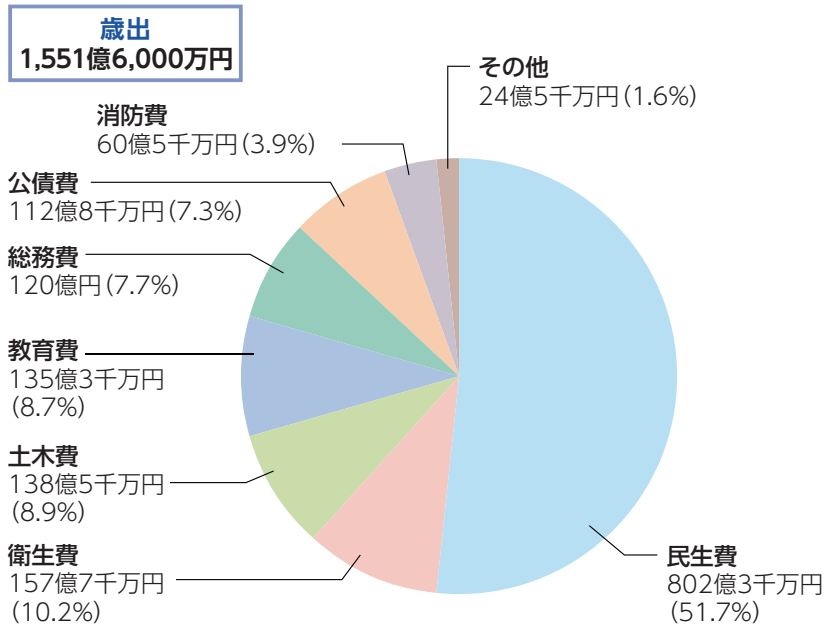
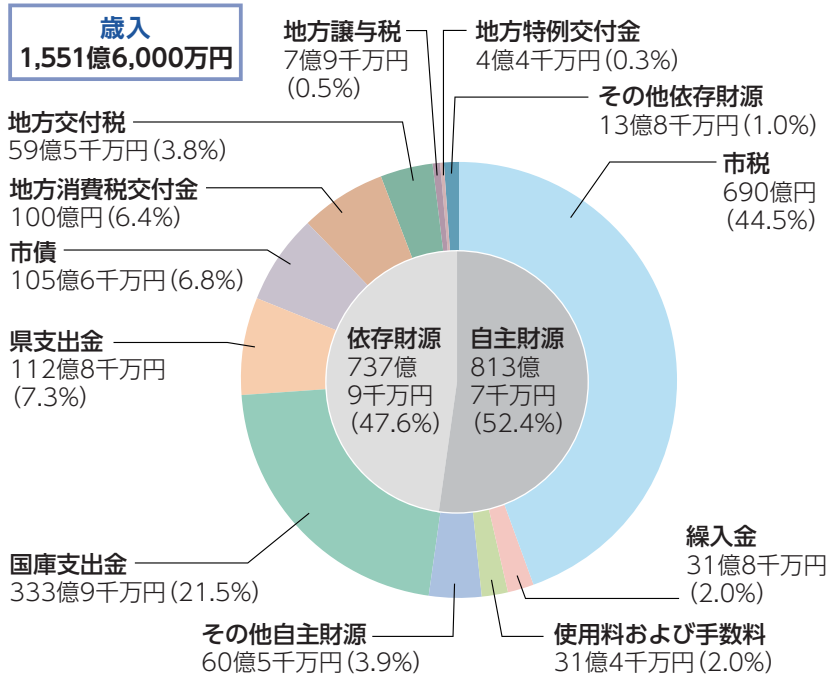
◎ 幹事長
○ 副幹事長

※ 変更があった会派名称および議員

(令和2年1月31日現在)

一般会計予算

※分かりやすくするため、グラフは千万円単位にしてあります。()内は構成比。



予算審査特別委員会委員

- 委員長 市川 恵一
- 副委員長 岩瀬 麻理
- 委員 ミール 計恵
- 委員 鷹野 聡子
- 委員 中村 典子
- 委員 大谷 茂範
- 委員 関根 ジョー
- 委員 原 裕一
- 委員 松尾 尚美
- 委員 城所 正能
- 委員 深山 一
- 委員 小沢 暁民

予算審査特別委員会の審査から

令和2年度予算(11会計)を可決

令和2年度当初予算

一般会計	1,551億6,000万円
特別会計	1,098億1,307万8千円
国民健康保険	430億7,960万9千円
松戸競輪	193億6,232万5千円
公設地方卸売市場事業	1億1,434万1千円
駐車場事業	1億4,900万2千円
介護保険	402億9,438万9千円
後期高齢者医療	65億3,578万7千円
新松戸駅東側地区土地区画整理事業	2億7,762万5千円
企業会計	529億8,865万4千円
水道事業	21億7,899万3千円
病院事業	303億 534万円
下水道事業	205億 432万1千円
合計	3,179億6,173万2千円

予算審査のあらまし

本会議

- 2/25 市長が11会計の予算案を提出
- 3/5 予算審査特別委員会を設置
- 3/16 予算審査特別委員会で審査
- 3/17 土木費における一部の予算措置理由が認めがたいとして一般会計予算の修正案が提出されたが、採決の結果、多数意見をもって否決
- 3/19 委員会審査では、11会計について可決すべきものと決定
- 3/23 審査結果を報告・質疑・討論・採決
- 3/25 11会計を可決

予算審査特別委員会

本会議

総務費

問 令和2年度に交付が開始される予定の図柄入りナンバープレート検討事業に関する所見を伺う。

答 5月11日に交付開始が決定された新たな地域名の「松戸ナンバー」は、図柄入りのナンバープレートも選択できるようにする。図柄は公募の中から選ばれたものであり、本市の自然や風景の魅力が視覚的に伝わるデザインとなっている。「松戸」の地域名や図柄が表示されたナンバープレートを付けた自動車は広告塔として全国に走り出すことで、本市の知名度向上のみならずシビックプライドの醸成等、地域振興、観光振興に資するものとして大いに期待している。この期待する効果を踏まえ、公用車への導入やイベントへの出展等、周知啓発に努めていく。

土木費

問 新拠点ゾーン整備基本計画策定業務委託料について、新拠点ゾーンの見直しは。

答 新拠点ゾーン整備基本計画を令和2年度に作成し、その後土地区画整理事業の事業認可を取得したいと考えている。土地区画整理事業の事業期間は、おおむね3年を見込んでいく。

松戸都市計画事業 新松戸駅東側地区土地区画整理事業

問 土地区画整理整備事業の費用の内訳は。また土地区画整理審議会の審議内容と開催時期は。

答 土地区画整理整備事業には、区画整理実施設計業務物件補償に関する説明業務、保留床部分取得事業者募集要項作成等支援助業務等の区画整理実施設計等業務委託料と事業区域内における用地先行買収費等を計上している。令和2年3月に開催予定の区画整理審議会では、会長等の互選、保留床部分取得事業者選考委員会委員の選定等を議題とする予定である。2年度には、評価委員の選任、換地設計基準等に関する審議を予定しており、開催時期、詳細は事業の進捗状況を見ながら調整していく。

民生費

問 公立保育所におけるICT化事業の内容と想定される効果について伺う。

答 平成30年10月に保育課および全公立保育所に保育システムを導入し、児童の登降所管理や職員の出退勤管理を行っている。令和2年度は、各保育室にタブレット端末を設置し、保護者のスマートフォンアプリが連携する連絡機能や、職員間の業務引き継ぎに利用する伝達機能および危機管理対応への活用を進めていく。連絡機能では、保護者の利便性が向上するとともに、保育士の事務を軽減し、保育に専念する環境づくりにつながるものと考えている。また伝達機能では、複数の職員への伝達が容易となり伝達漏れを防ぐことにつながると期待している。

教育費

問 本市図書館と学校図書館との連携について伺う。

答 学校図書館は読書の場としてだけでなく、自ら必要な情報を収集・選択し活用する能力を育てる場が変わってきている。本市図書館では、児童生徒がこれまで以上に図書館を活用した学習活動ができるよう学校図書館を支援している。令和2年度予算では、学校連携用の図書等の資料購入費として、調べ学習に使用する資料の貸し出しを行う他、幼児・児童の読書普及事業として、貸し出した資料をより有効に活用してもらうための取り組みや、教員や学校図書館関係職員および市民を対象とした「公共図書館と学校図書館の連携に関する研修会」を開催し、相互に学び合う場を設けている。

病院事業

問 市立総合医療センターの事業収益の増額を見込んでいるが、そのための新年度における重点的な取り組み内容について伺う。

答 病院事業に課された使命として、重点的に経営基盤の強化に取り組む。1点目は手術部門の強化である。外科系医師などの確保に努め、高度な治療を実施し診療単価の高い手術を増やしていく。2点目はがん治療の強化である。地域がん診療連携拠点病院として、放射線治療科を新設し、先端の放射線医療を提供していく。3点目は算定可能な新たな施設基準等の取得である。診療報酬請求のための専門職員の配置および専門性の高い体制を構築するための病院採用プロパー職員の配置を予定している。

予算討論

令和2年度予算案について、8人の議員が定例会最終日に討論を行いました。
ここでは、会派の討論を紹介します。
割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

松政クラブ

令和2年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計予算において、総務費では、次期総合計画策定について、その策定の遅れの責任は重大である。いまだ策定中であることから、スケジュールの遅れを挽回し、議会に対する説明と丁寧な協議を重ね、承認が得られた際には、プロジェクトマネジメントの失敗を徹底的に洗い出し、それぞれの責任を明確にした上で、今後のノウハウとして蓄積することを要望する。

民生費では、全般において、全世代型社会保障の構築に向けた予算となっていることから評価する。ただし公立保育所の民営化について、削減効果があると改めて示されたことから、今後、前進するよう期待する。

土木費では、新拠点ゾーン整備基本計画策定業務について、まちづくり基本構想に基づき魅力あるまちづくりを推進するために必要であることは理解しているが、一方で耐震性に問題のある現庁舎が放置される状況に不安がある。新庁舎については、可及的速やかな建て替えを期待する。

新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算では、長年地域住民から期待された事業であることから、今後、地権者と丁寧な協議を重ね、少しでも地権者に寄り添った事業展開をするよう要望する。病院事業会計予算では、医

公明党

令和2年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

業損失が拡大し、独立採算から遠ざかっている予算は残念である。しかしながら、新しい経営計画を策定する予定とことから、重要業績評価指標に基づき、独立採算を実現するための戦略を策定し、独立行政法人化も視野に入れた経営形態の見直しを要望する。予算執行の過程においては、聖域なく徹底した見直しを検討し、一つ一つの事業を着実に実行するよう期待する。

歳入では、財政調整基金取崩額の抑制を評価し、今後の補正で組み戻しを期待する。歳出では、人件費について、会計年度任用職員制度の導入により心配された影響額も予想を下回ることと一定の評価をするが、今後も適正人員配置の不断の検討を願う。

また新年度予算に賛成する3点の理由として1点目は、子育て支援策の積極的な推進である。今後5年間で約5千人増加するとの保育需要見込みから、2カ所の保育所新設および25カ所の小規模保育施設整備が盛り込まれ大いに評価する。2点目は、地域共生社会の実現に向けた、組織体制の整備と事業の推進である。総合政策部に「地域共生課」を創設し、複合化する地域課題を年齢や分野等で区別せず、切れ目ない体制を整備し、また地域力強化に向けた4つの新規事業推進を大いに評価す

る。3点目は、市民の命と財産を守る積極的な防災・減災対策への取り組みである。国土強靱化地域計画の策定や指定避難所のトイレ洋式化に当たりスピード感を最重視したリース方式の整備が盛り込まれ大いに評価する。

市民クラブ

令和2年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算は、令和時代の幕開けとなる本市の将来を決定付けるものであり、誰一人取り残さない全ての人が光り輝く松戸を目指し、さらなる市民福祉の増進のため適切な事業執行を願い、賛成する。

新年度予算にあたり、松戸市総合戦略の基本目標に着目し、その目標値が実現されれば、担税力が強くなるはずである。成長戦略の視点と同時

にどのように予算が図られているかに着目し審査に臨んだ。総務費のエンディングノートガイドライン作成事業では、身寄りのない単身者にとり、終活情報を誰が管理し本人の意思を伝えてくれるのが課題である。行政において終活登録制度を考えるべきと強く要望する。民生費では、こども発達センター機能が中心となり児童の発達支援・保護者の家族支援等の充実を要望する。衛生費では、保健・介護との連携や住民の健康意識向上等、健康都市を創造する総合的な取り組みが不可欠と考え、組織体制を検証し充実させる方向での組織再編を要望

する。農林水産業費および商工費では、予算の枠組みを大きく動かすことが活力あるまちづくりの成長戦略になると考え、事業者の稼ぐ力を強化するための支援を要望する。教育費全般の中で「特別の教科・道徳」において、多くの大人が子どもと関わる仕組みづくりも必要と考え、いじめ、不登校、虐待の問題解決のため努力していただきたい。

政策実現フォーラム

令和2年度一般会計、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、その他の特別会計および各企業会計に賛成する。

新型コロナウイルス感染拡大による景況悪化が見込まれる中、そもそも担税力が低い本市が大型事業を行うならば市財政はどうなるか、安易に借金の目安突破に転じようとする市の姿勢は看過できない。

一般会計では、予算審査特別委員会において、都市計画費の一部を削除する修正案を提出したが否決され、削除提案した事業以外は賛成と考えたが、大型事業関連予算はあまりに重大な問題であると判断し、予算全体に反対する。

新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計では、市は市役所建て替えや新焼却炉建設等、多額の予算を必要とする大型事業を進めようとしているが、事業費用やそれに伴う市の負担額、市債権発行額は明らかにされていない。また多額の予算が必要な立地換地による区画整理事業ではな

日本共産党

令和2年度一般会計、国民健康保険、競輪、介護保険、後期高齢者医療、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、その他の特別会計および各企業会計に賛成する。

く、よりコストがかからない道路整備事業など他の手法が十分に検討されているか疑問が残る。さらに立体換地建築物保留床の販売で損を出し、そのために余計な税金を投入するよう思える計画は市民の理解を得ることが極めて難しいと指摘し反対する。

一般会計では事業費の見通しも示せない大型事業に、多額の税金を投入する姿勢は疑問である。明市民センターについて公共財産は最大限、市民の財産として残すよう求める。デジタル教科書についてICT環境の充実より、少人数学級の実現を求める。農業では矢切の耕地を含めた農地保全と後継者育成等、積極的な振興策が必要と指摘する。

国保会計では財政調整基金等を活用し、子どもの均等割り減免を実施すべきである。介護保険会計では保険料・利用料の引き上げを抑え、制度拡充を図るため国庫負担の引き上げを求め反対する。

後期高齢者医療会計では高齢者を年齢で分ける仕組み自体に問題があるとして反対する。新松戸駅東側地区区画整理事業特別会計では地権者の合意、事業採算性、快速停車等問題が数多くあり反対する。

総務財務常任委員会 特定所管事務調査の委員長報告

各常任委員会では、市政の課題を抽出し定例会中だけでなく閉会中も調査研究を行っています。今定例会では、総務財務常任委員会における調査研究の結果を委員長より報告しました。またこれを、議長から市長に對して政策提言として提出しました。

本常任委員会では、さらなる市民福祉の向上と職員の働き方改革を模索すべく「先端技術(AI、ICT)の活用について」をテーマに調査研究をはじめ、研修会を開催しAIの特長等、委員間の情報共有を行った。次にAI活用の取り組みが進む自動会話プログラム(チャットボット)に焦点を当て、先進市を視察した結果、チャットボットは市民の受容性が高く職員の業務効率化になり得るもので、今後拡充すべき分野として災害対応での活用が挙げられていた。

一方、長期的な視点でデータ更新作業等が必要であり、またAIの仕組みを理解する職員の人材育成が必要であるという課題も見えてきた。よってAIは発展途中だが、市民が必要とする、きめ細やかな行政サービスの提供システムとしてチャットボットは有効な手段となるのでは、との意見集約に至り、AI、ICTを最大限に活用できる人材育成と、実効性のある活用方法を見出すことに努めることを政策提言とする。



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

委員会の審査から

2月26日・3月6日・10日・11日・13日に各常任委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
ここではその審査での主な質疑・答弁(要点)を掲載します。
(審議結果は2面に掲載)

総務財務 常任委員会

議案第55号 令和元年度松戸市一般会計補正予算(第4回)

問 災害救助事業について、本市の被災状況や支援の状況は。

答 令和元年台風15号、19号および10月25日の大雨による被害状況は、罹災証明書を434件発行し、そのうち家屋等の一部損壊が425件、同半壊が9件である。なお支援としては、半壊以上の罹災判定を受けた被災家屋の解体を公費で実施する。また被災した住宅の屋根または外壁等修繕工事費の助成を開始しており、発行した罹災証明書件数のうち162件の申請があり、142件を審査済みである。

問 被災農業施設等復旧支援事業補助金による支援内容は。

答 令和元年台風15号および19号で被害を受けた農業用施設機械の再建や修繕経費を国・県・本市が約9割補助するもので対象者45人、件数92件である。

議案第79号 松戸市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について

問 特別会計を設置する必要性やメリットについて伺う。

答 設置する特別会計は、新松戸駅東側地区土地区画整理事業に係る会計であり、設置理由は経理が明確化されることである。またメリットは、当該区画整理事業のみの歳入・歳入に関する審議となることや、市民から見ても、この事業への予算配分等が明確になることである。

健康福祉 常任委員会

議案第83号 松戸市虐待防止条例の制定について

問 児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待の3虐待防止の連携を推進する本条例について、千葉県内で同様の条例を制定している自治体はあるか。また千葉県警察との連携が不可欠と考えるが、市の考えを伺う。

答 現在、県内において同様の条例を制定している自治体はないものと認識している。虐待に対して、警察との連携は、大変重要と認識している。条例制定後に設置を予定している3虐待に連携して効果的な取り組みを推進する松戸市虐待防止連携

問 公私連携型保育所であるケヤキッズ保育園の設備の無償貸付期間が満了することに伴い、貸付要件を無償から有償にするとのことだが、貸付金額の算出根拠について伺う。

答 ケヤキッズ保育園の建物は、市と建設業者との間で平成29年度から3年間の賃貸借契約を締結しており、その後市に無償譲渡することになっている。貸付金額の算出根拠については、松戸市行政財産使用料条例を参考に、固定資産税評価額から貸付金額を算定し、相手方と協議を行った。

教育環境 常任委員会

議案第77号 特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について(松戸市いじめ防止対策委員会委員等報酬関係)

問 本市の他の委員会報酬と比較して、いじめ防止対策委員会委員等報酬を増額することが妥当であると判断した根拠について伺う。

答 子どもたちの命に関わること等であり、調査審議案件は複雑多様化し困難であることから妥当であると判断した。

問 委員の専門性と報酬についての考えは。専門性を考慮せず一律にした理由を伺う。

答 専門性により差をつけることについて検討はしたが、それぞれの委員が調査審議を行い、協議をした上で、全員が答申作りに関することから、報酬額は一律とする結論に至った。

議案第94号 和解について

問 和解金額において弁護士費用が減額されているが、減額は市が負担するのか。

答 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴う原子力損害賠償にかかる和解の弁護士費用について、申立額では、放射能対策に要した費用の3%を見積もっていたが、和解契約書案では2%となった。和解成立後、認定された金額を上限として弁護士と協議を行い、支払うこととなるため市が負担することはない。

建設経済 常任委員会

議案第88号 松戸市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 本条例で対象となる道路において、自転車通行帯を設置する道路の優先順位の決定方法について伺う。

答 関係部署によるワーキンググループで検討していく。道路幅員の他、地域特性や交通特性等、さまざまな要因を総合的に判断することになる。

議案第90号 松戸市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 市営住宅の入居手続きにおいて、連帯保証人を不要とする

答 ことにより、家賃の滞納が増加するのではないかと。本市の市営住宅における徴収率は近隣市等と比較して高く、保証人規定を廃止することによる影響は、軽微なものと考えている。

問 住宅確保要配慮者へのメリットについて伺う。

答 令和2年度の民法改正により、保証人が負担する極度額の設定が必要となるため、これまで以上に連帯保証人の確保が困難になる可能性がある。またこれまでも連帯保証人が確保できずに、市営住宅の申し込みを断念した方が一定層いたことも想定される。保証人規定の廃止により、市営住宅の申し込みが容易になることがメリットと考える。

一般質問

3月3日・4日・5日にわたり、市長・教育長の施政方針等の内容を中心に市政に関する一般質問を行い、5会派が代表質問を、会派に属さない議員3人が個人質問をしました。その中から主な質問と答弁の内容をお知らせします。代表質問は、会派の構成人数により決まる発言時間に応じた紙面配分で掲載しています。

松政クラブ

木村 みね子

新型コロナウイルス 感染症対策について

問 本市の全体的な対策を伺う。

答 市主催のイベントは参加人数にかかわらず令和2年3月末まで原則中止とした。市が後援等するイベントは開催の可否を十分検討した上で主催者団体が決定することとした。開催する場合には、参加者への注意喚起、手指消毒液の設置等の予防対策とともに体調不良者が従事しないよう要請している。町会・自治会等のイベントは市が後援等するイベントと同様の対応を依頼した他、市で作成した感染予防対策等を記載したポスターの掲示を依頼し、併せてイベント実施時の注意事項等を記載した通知文を発送した。施設については感染拡大防止のため利用を順次中止しており、対象施設の詳細はホームページ等で随時情報を更新している。また市役所内での対策として、感染予防等の啓発チラシを日本語、中国語、英語版で作成し各所で掲示する他、各部署で申請書の受付方法の見直しや業務体制の変更等の検討を行ってきた。市職員に対しては、時差出勤や出勤前の検温の励行等により感染拡大防止に努めている。状況の目まぐるしい変化が予想されるため、国や千葉県等からの情報収集に努め、市民の不安解消につながるよう速やかに情報発信し、感染拡大防止に努めていく。

まちづくりに対する基本的な考え方について

問 次期総合計画と都市計画マスタープラン策定の進捗について伺う。

答 次期総合計画は策定に向け、市民の意見を伺う目的で令和元年度に市民二



ーズ調査等3つの市民参加企画を実施した。各企画の実施成果の最終報告が整った。市民から意見を伺う機会は2年度も設ける予定であり、タウンミーティング等の実施を見据え準備を進めていく。この他に現行の後期基本計画の中間評価を行っている。現計画が設定期間の最終時点での事業の取り組み状況や各種指標の達成状況を把握し共有することにより、次期総合計画の立案につなげる。今後の予定は、まず議会に対し策定に向けた検討状況の詳細を示せるよう準備を進めている。その後素案の内容が整い次第、議会の意見を伺うとともに、タウンミーティング等で市民へ披露するという手順を経て成案化につなげていきたい。

都市計画マスタープランは、現在関係各課と連携を図りながら、都市の特性や本市を取り巻く環境の変化等を分析し、今後の都市づくりの方向性を検討している段階である。2年度末の改定を目指しており、庁内での検討をさらに進め、都市計画審議会での審議を経た上で議会へ説明する。

まちが再生し、賑わいのあるまちづくりについて

松戸駅周辺まちづくり基本構想における新拠点ゾーン以外の事業は、施政方針にある「予定している大規模事業」に含まれるか。また矢切地区に観光拠点として公園を整備することになっているが、観光拠点の対象とする範囲と面積について伺う。

松戸駅周辺まちづくり基本構想に記載の新拠点ゾーン以外の事業は、平成31年3月の予算審査特別委員会で示した大規模事業には含まれていない。

矢切観光拠点の範囲は、現時点においては矢切の渡し公園の面積約2ヘクタールのみとなるが、公園完成後の状況によりその後の整備実施の判断をしていきたいと考える。

児童虐待防止の要となる児童相談所について

本市では今定例会で松戸市虐待防止条例が上程され、具体的な施策を議論する環境が整うと考える。特に児童虐待については、全国の児童相談所への虐待相談件数が増加を続けており、早急な対策が求められる。また千葉県では新たな児童相談所設置の方向性が示された。このように児童虐待防止を取り巻く環境は前進したと思われることから、児童虐待防止の要となる児童相談所について伺う。

本市に児童相談所が設置されると、児童相談所と連携し在宅生活を送る子どもや家庭への支援がより充実できると考える。県の児童相談所の管轄等の見直しは、令和2年3月実施予定の社会福祉審議会の専門分科会で、児童相談所の管轄人口等を勘案し新たな管轄区域が検討される予定であり、現時点ではその後示される区割りの結果を注視していく。県の児童相談所の本市への設置は市としても切望しており、今後、新設される児童相談所の管轄区域に本市が入った際には、誘致に向けて積極的に進めていく。

公明党
飯箸 公明

全世代型社会保障・地域共生社会の実現に向けた組織体制について

令和2年度からは地域共生社会の普及啓発に関する事業が予算化されるようだが、全世代型社会保障・地域共生社会に対応できる組織体制を構築することについて、市の見解を伺う。

地域共生社会の実現は、平成28年に「ニッポン一億総活躍プラン」の柱の一つとして閣議決定され、厚生労働省においては29年に「地域共生社会の実現に向けて」が策定された。本市としても重

要施策の一つと認識しており、30年から「福祉まるごと相談窓口」の開設や、地域住民や行政、さらに地域資源を生かし、地域の課題を共に認識し、解決していく仕組みづくりが進められるよう市内15圏域で「地域づくりフォーラム」を実施した。今後は、福祉施策だけではなく、さまざまな分野で複合的な地域の課題を横断的に解決するには、地域共生社会の実現が喫緊の課題であると認識していることから、令和2年度、総合政策部に「地域共生課」を創設し、地域の課題整理や仕組みづくりを検討し、3年度に向け、あるべき組織体制について検討していく。

平和事業の充実について

南九州市の知覧特攻平和会館では展示物の一部を無料貸し出ししている。戦後75周年に際し、こうした展示物や戦争体験の語り部を招聘する等、子どもたちに平和の大切さや戦争の悲惨さを継承する取り組みを本市でも行う考えは。

令和2年は、戦後75周年、世界平和都市宣言をして35周年と、節目の年を迎えるにあたり、被爆地広島を学ぶための記念事業として「親子平和大使広島派遣」の実施や、広報まっど「平和特集号」の発行など、平和事業の充実を図ってきたい。知覧特攻平和会館には本市出身の方が特攻隊員として出陣する際に残した手紙が展示されており、その他にも次の世代に戦争の悲惨さや、残酷さ、そして平和の尊さを伝えることができる資料があり、本市にとってもつながりがあるものと認識している。知覧特攻平和会館の展示資料の活用など、情報を収集・研究し、2年度に開催する本市の平和事業の充実を図っていききたいと考えている。

高齢者等世帯に対するごみ出し支援について

ごみ出し困難者への支援については、その必要性を訴えてきたが、国もこの問題への支援が必要と判断し、特別交

付税による措置を創設した。本市としても最重要課題の一つとして対策を進めるべきと考えるが、取り組みの現状を伺う。

本市としても重要な課題の一つとして現状の制度の対象要件である「要介護4、5の認定」を「要介護認定を受けているもの」に緩和するなど利用しやすくしていく。今後も、ごみ出しが困難な方々に対して、安心して暮らすことができる環境づくりに向けて、さまざまな支援を研究し、実現につなげていきたい。

市立総合医療センターのシャトルバスの増便について

総合医療センターのシャトルバスについては、多くの市民より増便や車両の大型化などの要望があり改善に向け質問をしてきた。路線バス化が難しければ、運行する車両を2台にするなど、抜本的な策を講じない限り改善できないと思うが、総合医療センターへの交通アクセスの確保をどう考えるか。

現在運行中の貸切りバスは、乗客から個別に運賃を徴収することが禁止されており、運行経費は全て病院事業の負担となり、経費負担が増加するなど、経営面の課題もある。病院事業としては、引き続き路線バスとしての運行を模索していくが、当面の改善策は、令和2年度中にシャトルバスを2台に増車し、30分に1本の運行を目安に輸送力を増強する方向で検討していく。



市民クラブ
岩堀 研嗣

市税収入について

本市最大の課題の一つが、市民一人当たりの担税力の低さであり、松戸市総合戦略で示す数値目標が達成できれば、

その成果が税収の伸びとして現れると考える。そこで成長戦略を成し遂げ、市民一人当たりの担税力を上げる考えは。

本市は近隣市と比べ担税力が弱い。そのため、市税構造を変えることが重要と考える。まちの活力を低下させないためにも、子ども子育て施策等を積極的に展開することで、総合戦略の基本目標を実現し、子育て世代の定住化、人口流入の促進が図られ、市税構造の変化に寄与すると理解している。従って税収確保に向けた施策を推進するには、プライマリーバランスなど財政状況を慎重に見極め、中長期にわたり自立した持続可能な財政運営を確立することが肝要と考える。

公共施設再編整備について

公共施設再編整備にあたり行政改革が不可欠と考えるが①全体の政策目標を達成するため確固たるルールづくりが必要ではないか②組織横断的で権限が強化された組織体制が必要ではないか③民間活力を導入する考えはあるか伺う。

①個別施設計画の策定では、各施設の建物性能等、財政状況の視点から基礎評価を行い、その結果分析により公共施設再編の方向性を示す②計画の実行段階では、公共施設再編整備検討委員会等における総合的な調整を図る仕組みを検討する③今後施設の更新、集約・複合化を行う際には、PPP/PFI手法導入優先的検討規程に則り、サウンディング調査等を通じ民間企業のニーズを探りながら民間活力の導入を図っていく。

松戸駅周辺まちづくり基本構想について

JR松戸駅の大規模改修をきっかけに、具体的に進んでいる新拠点ゾーン整備事業や都市再生緊急整備地域の指定等は全体構想の一部と考えるが、今後の松戸駅周辺全体の事業効果を伺う。

新拠点ゾーンは、本市の中心市街地である松戸駅近傍に残された唯一の大

規模なまちづくり用地であり、周辺に賑わいを創出する大きな可能性を秘めている。また災害発生時においても高い防災拠点機能を兼ね備えることが可能となる。

教育施策について

学校と地域との連携は、地域に開かれた学校の姿を全庁的に共有し、創造する具体的な体制づくりが必要と考える。また学校、教員が担う役割と保護者、地域が担う役割を明確に意識し連携することが不可欠と考えるが、市の見解を伺う。

地域の方々には、小学生の登下校時の見守り活動、学校周辺の清掃作業等、既にボランティアとして学校に協力いただいている。今後は地域の方々による学校に対する支援の内容等の現状を具体的に把握し、地域の特性に応じた支援の輪がさらに広まるよう検討していく。

政策実現フォーラム

DELLI

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

新型コロナウイルス感染症が拡大した場合、病院での感染確率が高まることから、持病等があり重症化のリスクを抱える方のために、市立総合医療センターでのオンライン診療導入について伺う。

政府から発表された新型コロナウイルス感染症対策の基本方針では、患者のさらなる増加や新型コロナウイルス感染症の特徴を踏まえた適切な入院医療の提供体制を整備するものとされている。市立総合医療センターは、この方針に沿って新型コロナウイルス感染症重症患者を含む第三次救急や小児医療等を担う急性期病院であり、オンライン診療等については非常に厳しい側面があることに加え、主体的に判断できない部分がある。

今後の重点施策について

今後も子育て施策を重点施策としながら、さらにまちづくりを重点施策とするか、子育て施策は成果が出たとして縮小し、まちづくりを重点施策とするか。

本市が力を入れてきた子育て支援の充実に加え、多様な働き方を実現できる雇用創出や産業の活性化、まちの再生・リニューアルなど必要な成長戦略に投資したい。また高齢になっても元気に暮らせる地域共生社会の実現、さらには水害や地震等の自然災害に強い安全安心なまちづくりについても重要施策と考えており、これらの施策を進めることで、選ばれる・魅力あるまちづくりと、持続可能な行財政運営の実現を図っていく。

市債残高限界値の目安と大型事業実施の可否について

現状の本市財政状況から、市債残高限界値の目安と大型事業実施の整合性について市の見解を伺う。

平成28年3月定例会において「8年度の約1436億円程度」と答弁した市債残高は、大型事業に係る事業費が算出されていない中で目安を示しており、超えられないものと意図したものではありません。市議会との合意形成を図り、実施するべきと判断した際には、当該市債残高にかかわらず投資をするべきと考える。一方で今後も安定的・継続的な市政運営ができるよう歳入の確保や財政負担の抑制に努め、健全財政を維持していきたい。

地域包括ケアの充実について

重度者向け在宅サービスの小規模多機能サービスや定期巡回サービスの整備状況と利用状況は。また介護者負担軽減から利用料軽減を行う考えを伺う。

令和元年12月1日現在、小規模多機能型居宅介護11カ所での利用率は75.8%、看護小規模多機能型居宅介護7カ所

で利用率は69.3%である。定期巡回・随時対応型訪問介護看護は4カ所での利用者は49人であり、2年3月1日に新たな事業所がオープンし5カ所となった。また宿泊費用への補助は財政的な負担や他のサービスとのバランスを図ること等、課題も多く今後研究していきたい。

日本共産党

平田 きよみ

下総航空基地の情報提供と市民への注意喚起について

木更津駐屯地へのオスプレイ暫定配備は、防衛省と木更津市で5年以内を目標とする合意文書結び、千葉県知事も受け入れる方向を表明している。実際にオスプレイの訓練が始まって以降は、特に市民への注意喚起は必要と考えるが、市の見解を伺う。

市長の退職金支給をめぐる条例遵守の考え方について

2019年12月定例会において、市長の退職金への税金問題について、職員退職金支給条例の退職金支給期日を過ぎたことについて「訓示規定であり、適正な対応であった」旨の答弁があったが、この答弁は適切であったのか。撤回すべきと考えるが、市の見解を伺う。

行政運営を行う際には、関連する法令等を遵守することは、地方公務員法第32条に規定されており、大事な基本原則の一つでもある。市長の2期目の退職手当の支給が遅れたことについては、税務署および税理士等へ相談・調査するこ

とに時間を要したが、税法をはじめとする関係法令により適正に事務処理を行ったもので、適切であったと考えている。

教員間のいじめやパワハラ・セクハラの実態と市教育委員会の認識について

職場におけるいじめやハラスメントは、都道府県労働局に設置した総合相談コーナーに寄せられている相談内容の中で2012年以降トップとなり、増加傾向にあるが、本市における実態は。また市教育委員会の見解と対応を伺う。

本市においては、重大事故となる教員間のいじめやパワハラ・セクハラの実態はないと認識しているが、職場での教員間の人間関係によるトラブルは、数少ないものの耳にすることもある。学校現場においては高度な人権感覚が求められ、教員間のいじめ等、絶対起こしてはならないものと認識している。

無所属

中西 香澄

東松戸複合施設の情報発信について

ホームページにおいて東松戸複合施設の「現在の計画や進捗状況」や「説明会の案内」が掲載されていない。正確な情報を市民に届けるため随時ホームページに掲載すべきと考えるが、市の見解を伺う。

平成31年3月29日から令和2年1月31日まで設計業務委託期間中であり公開できる情報がなかった。説明会の案内は、チラシを施設周辺の町会掲示板、東部支所等へ掲示し周知した。説明会開催時に住民の方からホームページ掲載の要望もあつたことから、市民の皆さまへ事業内容の進捗を捉えた情報やお知らせ等の掲載に努めていく。

無所属

岡本 優子

ペット同行の避難所開設への取り組みは

ペット同行の避難所開設に向けた取り組みについての協議および令和2年度の計画について伺う。

元年の台風で避難所開設した市民センターでは、避難者の収容スペース等を考慮すると、ペットとの同行避難は難しいことから、同行避難が可能な小中学校等の避難所を開設できるよう考えている。今後は、2年の出水期に間に合うよう、避難所となる施設への協力依頼、各避難所におけるペットの居場所を含む細部の調査および調整、市民への周知を関係部局とともに進めていく。



無所属

山中 啓之

児童への不適切な対応について

教員が児童に不適切な指導をした音声動画がYouTubeに投稿された件で、事故報告書に教員の不適切な指導があつたとされるが、教員が児童のいじめに加担していたら傷害罪の疑いがある。そこで事実確認について伺う。

本市の教頭、教員による児童への不適切な指導は認識しているが行動は示されていない。いじめ防止対策委員会では、双方向から意見聴取ができず明確な判断はできなかった。千葉県教育委員会からの指示を受け指導措置を講じた。県が懲戒処分を行わなかったため、これ以上この場で話すことは適さないと考える。



松戸市議会表彰

令和元年度、松戸市議会表彰を行いました。
この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い、その功労に報いるとともに市民の郷土愛を育むことを目的としています。
※今年度の表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とし、3月4日の本会議において、受賞された皆さまを議長から紹介させていただきました。



個人表彰

白倉 光喜 (県立松戸南高等学校)

第67回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 文部科学大臣賞

チユクネレ ジョエル 優人 (市立小金中学校)

第46回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子走高跳 第1位

村竹 ラシッド (県立松戸国際高等学校)

第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会男子110mハードル 第1位

団体表彰

市立第二中学校 吹奏楽部

第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校B部門 最優秀賞

市立第六中学校 管弦楽部

第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校A部門 最優秀賞・審査員特別賞

市立小金中学校 吹奏楽部

第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校B部門 最優秀賞

市立小金中学校 科学部

ロボカップジュニア・ジャパンオープン2019日本リーグ オンステージ 第1位

市立小金南中学校 吹奏楽部

第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校B部門 最優秀賞

市立松戸高等学校 吹奏楽部

第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会 高等学校A部門 最優秀賞

聖徳大学附属女子中学校高等学校 書道部

第43回学芸書道全国展 最優秀団体賞

特別表彰

ハッサン ナワール (市立第五中学校)

第46回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子200m 第1位(同種目3連覇)

(敬称略)

人事案件

農業委員会委員の任命に同意しました。(敬称略)

●農業委員会委員

司 夫 子 一 郎	雄 弘 美 樹 芳 平 香
ただ 忠 洋 孝 勇 榮 一	輝 慶 一 英 正 昌
さ 佐 邊 浅 浦 木 藤	ぐ 口 邊 室 戸 藤 浦 藤
つ 椿 岩 渡 湯 杉 鈴 加	や 山 渡 山 松 加 杉 齋

議会傍聴について

市議会では新型コロナウイルス感染症対策に努めております。今後の定例会の傍聴については、下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047 (366) 7381

6月定例会の開催予定

令和2年松戸市議会6月定例会は、6月9日(火)から6月25日(木)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。請願・陳情は、5月29日(金)正午が提出期限です。

日程	主な内容
6月9日(火)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
10日(水)	本会議(一般質問)
11日(木)	〃(一般質問)
12日(金)	〃(一般質問)
15日(月)	〃(一般質問)
16日(火)	〃(一般質問・議案質疑)
18日(木)	総務財務常任委員会
19日(金)	健康福祉常任委員会
22日(月)	教育環境常任委員会
23日(火)	建設経済常任委員会
25日(木)	本会議(議案等の採決)

※このほか随時委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

編集の窓

風薫る5月となりました。今年に入り間もなく、新型コロナウイルス感染症対策に伴う突然の学校の休校や公共施設の閉鎖により、多くの市民の皆さんが戸惑われたことと思います。

議会としても、新年度予算が審査される3月定例会の開催がどうなるのか心配しましたが、無事に最終日を迎えることができました。新年度予算が決まり、令和2年度がスタートしております。

また4月上旬には、国の「緊急事態宣言の対象地域」に千葉県が指定され、さらなる感染拡大の防止策として、市民の皆さんには不要不急の外出自粛等をお願いしているところです。

今後も市民の皆さんの声に耳を傾け、できる限りの対策を求め、検証する役割もきちんと果たす議会でありたいと思っております。議会に対するご意見をぜひお寄せください。

広報委員会

委員長 大塚 健児
副委員長 松尾 尚
委員 ミール 計恵
委員 鴈野 聡
委員 中村 典子
委員 増田 薫※
委員 篠田 哲弥
委員 大谷 茂範
委員 原 裕二
委員 伊東 英一
委員 渋谷 剛士
委員 市川 恵一

※変更があった委員

次回発行予定は8月1日(土)です